



陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務概要

- 所在地 岩手県陸前高田市 高田地区・今泉地区
- 施設管理者 陸前高田市(事業者)、  
(岩手県再生機構東北震災復興支援本部)
- 設計者 清水建設・西松建設・青木あすなろ建設・オリエンタルコンサルタンツ・  
国際航業陸前高田市震災復興事業共同企業体
- 施工者 清水建設・西松建設・青木あすなろ建設・オリエンタルコンサルタンツ・  
国際航業陸前高田市震災復興事業共同企業体
- 着工日 2012年12月11日
- 竣工日 2021年2月28日



詳細や他の写真などは  
左記の二次元コードから  
Webページにアクセスしてご覧ください。

1. 硬岩部の掘削状況
2. 旋回バルコン
3. 土砂搬送用の吊り橋

締め管理データは三次元の形状モデルと関連付けたCIMモデルの構築を試行し、トレーサビリティを確保した。  
新たな業務形態やICTを積極的に活用し、高台移転による新しいまちづくりを事業関係者が一体となり早期完成させ、震災復興に対して大きく貢献した。これらのことから、本工事は日建連表彰土木賞に値するものと認められた。

日建連表彰2023



第4回土木賞

# 陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務

## 受賞理由

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた陸前高田市の震災復興事業である。一刻も早い復興へ向けて早期に住民の高台移転を実現し、復興まちづくりを推進することが求められた。陸前高田市(事業者主体)、UR都市機構(発注者)、陸前高田市震災復興事業共同企業体(受注者)の三者が連携し、敷地面積三〇〇畝、切土量約一、二〇〇万立方メートル、盛土量約一、一〇〇万立方メートルにおよぶ大規模土工事に対してCM方式、ファストトラック方式を採用し、先端技術を活用した急速施工により早期に事業を完了させた。

工程上の隘路となっていた土運搬に関し、気仙川を横断する部分に仮設吊り橋を構築し、一般道路を使用したダンプ運搬からベルトコンベヤによる運搬に変更した。このことにより土砂運搬工程を約八・五年から約二・五年に六年も短縮したほか、大幅なコスト削減となり、地元交通への影響やCO<sub>2</sub>発生量を低減し、環境面に関しても貢献することができた。

出来形・土量管理には当時最先端の自立飛行型UAV航空写真測量を実施し、あらかじめ設定したルートを時速八〇キロで飛行しながら写真撮影することで、わずか三日で測量結果を入手できた。また、測量結果を三次元モデルに反映させることで土工量を短時間で算出し、効率的な出来形・土量管理を行った。

盛土施工管理にはGNSSによる位置管理ができるブルドーザと振動ローラを用いて敷均し・締めを最大一二セットの同時稼働により行い、大規模土工事におけるGNSS管理の先駆けとなった。なお、

## 土木賞

土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工、及び維持管理などに関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点(施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など)を重視しています。

《日建連表彰2023 第4回土木賞受賞プロジェクト・構造物》 赤谷3号砂防堰堤工事/天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事(1期~3期)/五十里ダム施設改良工事・五十里ダム取水放流設備新設工事/環2地下トンネル(仮称)及び築地換気所(仮称)ほか築造工事(27一環2築地工区)/北大阪急行線の延伸事業のうち土工事/JR飯田橋駅ホーム移設事業/多摩川スカイブリッジ/中央自動車道上田川橋の床版取替え/北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト/陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務/【特別賞】廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事/【特別賞】芽登第二発電所 導水路改修プロジェクト